

産業能率大学 経営学部

国際文化比較B(アジアと日本)	履修年次	1	
	単位	2	
欧陽 菲	配当期	後	
	授業方法	講義/ライブ	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>① アジアの主な文化圏における宗教・価値観を理解することを基本とする。</p> <p>② ①を核として、各文化圏・国をベースに生まれた日常生活から芸術に至る文化の違いと独自性を発見する。</p> <p>③ 異文化理解の基本知識を学び、各国の文化が互いに影響しあう部分やビジネスで見られる摩擦と対処方法なども確認したい。</p> <p>④ 講義だけではなく、グループワークや課題などの形で異文化に興味を持つことと、問題解決的に考える力も重視する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア諸国・地域の文化の違いと共通性を再確認できる。</li> <li>・グローバル人材の第一歩である相互理解のチャンスに触れることができる。</li> <li>・多様な文化を理解し、グローバルな社会的変化に対応する柔軟な考え方を養うことができる。</li> </ul>			
成績評価の方法			
<p>定期試験、授業外学習と課題提出で、基本知識を把握したか、それぞれの文化圏の相違と人類が相互理解の基礎を認識できるか、現実問題に対しバランスの取れた自分の考えを持てるかで評価する。出席・授業への参画も評価の対象となる。</p>			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス	8	中華圏の文化①中国の三大思想
2	アジア地域と主要国の概要南アジアの文化①ヒンズー教の考え	9	中華圏の文化②生活習慣と世界遺産
3	南アジアの文化②インド文化	10	日本の文化①外から見た日本文化
4	イスラーム圏の文化①イスラームの価値観	11	日本の文化②継承すべき日本文化
5	イスラーム圏の文化②生活習慣と世界遺産	12	異文化理解①異文化理解に関する概念・理論
6	仏教文化①仏教の価値観	13	異文化理解②理論で考える異文化理解と東洋と西洋文化の比較
7	仏教文化②生活習慣と世界遺産	14	異文化理解③復習・総括—ケースによる異文化理解の実践と応用課題の提示